

- ついでに、もう一つ練習しておいて下さい。  
親指だけで、5弦をはじめてみましょう。このときも、強弱をつけて弾くことを忘れないで下さい。

譜例-7

\* コツは、1弦に薬指、2弦に中指を触れて、親指だけを動かすことと、右肩が上っていないかどうかを注意することです。

※決して面白さを感じられる練習ではありません。適当にして (!) 先へ進んでOKですが、練習を始めるときに“譜例-6~8を数回ずつ2~3分、必ず弾いてみる”ことが効果的です。

## 2、音を出してみましょう。(その-2)

- ギターは弦楽器の一つで、しかも、ピアノのようにメロディーと伴奏(和音)と一緒にひく楽器です。そのためには、譜例8まで使った「一線譜」では記譜が不自由なため、今後は「五線譜」を使います。譜例6~8を「五線譜」に記入すると、次のようになります。

音符の下に階名を書いておきますので、階名を言いながら練習すると読譜力が高まります。

譜例-8 (譜例-6の音)

譜例-9 (譜例-7の音)

譜例-10 (譜例-8の音)

- 譜例9~11の五線譜を見ながら (!)、譜例6~8と同じように練習して下さい。